

未来を拓く。

未来の地球を担える学びがここにはある。

School of Science and Technology / Graduate School of Science and Technology

私たちの暮らしを取り巻くもの全てに関わっている、サイエンス&テクノロジー。

それは未知の領域を追究する学問であり、環境問題や食糧問題といった既存の知識・技術だけでは対処できない重大な問題に対して答えを導き出すことができます。関学理工学部は、サイエンス&テクノロジーを探究し続けて50年。あなたも私たちとともに、これからの地球・人類の未来を拓いてみませんか？



【食糧供給】



【クローン動物の作製】



【ロボット】



【地球と化学】



【ヒトの秘密】



【通信ネットワークの未来】



【環境応答】



【自然の法則】



【偶然性】



【新奇物質の創製】



【自然界のパターン】



【知識の探求】

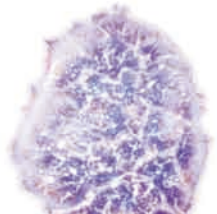
50th
serve one
another in love



【エンタテインメント】



【シンメトリー】



【幹細胞の可能性】



【情報が拓く世界】



【経済現象】



【高機能コミュニケーション】



【遺伝子組み換え】



【物質と光の謎】



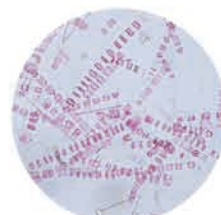
【原子の構造】



【医薬と医療】



【宇宙の謎】



【染色体 DNA】



【タンパク質の X 線構造解析】



【生体物質の構成原理】



【Cyberキタス】



【アート】



【Mastery for Service】

関西学院大学 理工学部は2011年4月、50周年を迎えます。

■50周年記念イベントの情報はホームページをご覧ください。

<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/>

tel.079-565-8300 fax.079-565-9077



関西学院大学

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

理工学部・大学院理工学研究科

〒669-1337 兵庫県三田市学園2丁目1番地

関学 理工学部は、 50周年を迎えます。

学べる6学科 全68研究室。
あなたは、どんな研究に
興味がありますか？

1961年に2学科体制でスタートした関学理工学部は、現在、6学科68研究室を有する理工学部となり、自然科学の基礎から応用まで幅広い教育・研究を通じて、未来を担う人材を育成し続けています。

2011年4月に創立50周年という記念すべき年を迎えるにあたり、もっと身近に理工学を感じていただくために、さまざまなイベントを企画しています。あなたもこの機会に、サイエンス&テクノロジーの世界を体験してみませんか？



■50周年記念イベントの情報は ホームページをご覧ください。

関学理工学部は創立50周年を迎えるにあたり、2010年より学術講演会や記念シンポジウムなどを開催する予定です。詳細は随時ホームページに掲載していきますので、ぜひご覧ください。



このバナーをクリック！

<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/>
tel.079-565-8300
fax.079-565-9077

数 理 科 学 科

幅広い分野と連携し、数学を理論と応用から追求。



数学コース
応用数理コース

現在、数学とそれととりまく諸分野は実社会のニーズに応じて変化し、数学、物理学、情報科学、化学、経済学、生命科学などが互いに強い影響を与え合っています。そこで、数理科学科では数学を核としつつも、数学を応用する分野にまで視野を拡大。コンピュータの学習を重視するとともに、解析、幾何、代数、確率、最適化問題、非線形現象、数理ファイナンス(金融工学)などの専門家を揃え、ハイレベルな研究を行います。

Department of Mathematical Sciences 全10研究室

物 理 学 科

自然界の法則・原理を追求し、新たな科学技術の創造をめざす。



理論物理
実験物理

物理学は、できるだけ少数の原理に基づいて自然界を根本的に理解しようという学問です。その論理性を武器に、既成の概念や世の中の常識に挑戦します。物理学科では、物理的・数学的思考の基礎を着実に身につけた上で、他の学問領域までカバーする創造力・応用力をつけることをめざします。講義・実験・少人数ゼミと、バランスのとれたカリキュラムで、宇宙論からナノテクノロジーまでの幅広い最先端領域の知識・技術を学びます。

Department of Physics 全12研究室

化 学 科

最先端領域を視野に、あらゆる物質の構造・反応を探る。



物理化学分野、無機・分析化学分野
有機化学分野

化学は、最も基礎的な学問領域として、数学や物理学と相互にリンクしながら物質文明の発展を支えてきました。物質・エネルギー・環境・生命といった現代社会のキーワードはすべて化学と密接に関わっており、化学分野における研究成果に熱い期待が寄せられています。化学科は「物理化学」「無機・分析化学」「有機化学」の3つの分野で構成され、それぞれの切り口から化学の最前線の知識・技術を身につけます。

Department of Chemistry 全12研究室

生 命 科 学 科

医・薬学の基礎も取り入れ、生命現象のメカニズムを解読する。



生命科学専攻
生命医化学専攻

生命科学の急速な発展とともに、その成果が直接・間接的に人類の健康促進と病気の予防・原因解明・治療に応用されるようになってきました。生命科学科は、2004年より理化学研究所の発生・再生科学総合研究センターと共同研究を実施しており、最先端の学びや研究に取り組むことができます。また、2009年新に設置された「生命科学専攻」と「生命医化学専攻」では、医・薬学の基礎も取り入れ、生命現象のメカニズム解読に挑みます。

Department of Bioscience 全12研究室

情 報 科 学 科

高度なネットワーク社会を支える 広範な知力と創造力を育てる。



ネットワークシステムコース
情報システムコース

情報科学科では、情報科学を応用して新たなビジネスを創造できる人材を育成します。数理科学や自然科学など情報科学の基礎となる学問と、ソフトウェアの制作、インターネット資源利用から通信、流通、エンターテインメントまで、最先端のIT技術・知識を習得。さらに人文・社会系の学習を通し、普遍的な価値観や倫理観を養成。2009年4月にはネットワークシステムコースと情報システムコースを設置。より専門的な学びが可能になりました。

Department of Informatics 全11研究室

人間システム工学科

人間の特性や感性を理解し、人とシステムとの関係を創造。



映像音響システムコース
サイバーロボティクスコース

21世紀に入り、マルチメディアやロボットは加速度的に私たちの生活に浸透しつつあります。今後は、人間の特性や感性の理解に基づいたシステムづくりがますます重要になってくるでしょう。人間システム工学科のテーマは、ヒトとマルチメディア、ヒトと機械、ヒトと生活環境の相互作用についての理解と、その理解に根ざしたシステム開発。そのため、情報科学、ロボット工学、デザイン学、脳科学など幅広い領域の学びを展開します。

Department of Human System Interaction 全11研究室